

「留学支援ネットワークワークショップー日本人学生の派遣に係る課題についてー」

日時:平成28年9月21日(水)11:15ー12:00

場所:京都大学国際科学イノベーション拠点

留学生を支援するということ  
ー受け入れ側として、送り出す側としてー

大阪大学国際教育交流センター  
センター長・教授 有川友子

1

本日の内容

- I はじめに
- II 海外留学の種類など
- III 留学する学生の立場から考えてみる
- IV 留学生の支援にかかわること
- V 終わりに

2

## I はじめに

1. 留学生を支援するということ
  - ①受け入れ側として
  - ②派遣する側として
2. どのような立場でかかわるか
3. どこまでかかわるか

3

## II 海外留学の種類など

1. 種類
  - ・語学研修等
  - ・交換留学
  - ・正規課程
2. 期間
  - ・1か月未満から1か月程度
  - ・半年～1年間
  - ・1年以上、数年間
3. 形態等
  - ・大学主催、大学の制度（授業料相互不徴収、単位互換等）
  - ・大学や部局がかかわるプログラム  
（単位付与されるもの、されないもの）
  - ・学生個人

4

### Ⅲ 留学する学生の立場から考えてみる(1)

#### 1. 留学する学生に関わること

例:

- ① 学生が留学するまでの環境、バックグラウンド
- ② 留学の目的、目標
- ③ 留学中の身分、滞在期間
- ④ 留学中の学業・研究に関わること
- ⑤ 留学中の日常生活、友人、コミュニティ
- ⑥ 留学中の母国の状況や家族との関係等
- ⑦ 留学後の大学での生活
- ⑧ 大学卒業後、大学院修了後

5

### Ⅲ 留学する学生の立場から考えてみる(2)

#### 2. 特に派遣留学に関わること

① 先方の大学等での受け入れ環境や対応体制等

② 学生が留学するまでのこと

例:

- ・ 海外での経験
- ・ 1人暮らしの体験
- ・ 勉学・研究面
- ・ 日常生活
- ・ 健康状態
- ・ 家族との関係

6

### III 留学する学生の立場から考えてみる(2)

#### 2. 特に派遣留学に関わること(続き)

##### ③留学中のこと

例:

- ・学生が捉える現地での言語、文化、その他の環境
- ・現地での勉学・研究面に関わること
- ・現地での健康状態
- ・現地での友人関係、コミュニティ
- ・留学中の母校との関係やコミュニケーションの状況
- ・留学中の家族との関係
- ・母国の状況等
- ・学生が捉える留学後に関わること

##### ④留学後のこと

7

### IV. 留学生の支援にかかわること(1)

1. 留学生関係教職員間で信頼関係、コミュニケーション、ネットワークがあり、良い連携協力関係にあることが大事である。

・留学生に関係する教育支援体制とともに、教職員間の関係が緊急時の対応に関係することがある。

・特に緊急時にはチームでの対応が不可欠である。

8

#### IV. 留学生の支援にかかわること(2)

##### 2. 留学生支援に関わる多様な仕事(主に派遣関係)

###### ①留学事務にかかわること

例:海外留学(派遣)案内、募集、受付(申請)、選考、結果通知、奨学金関係手続き

###### ②留学する学生に関わること

例:相談対応、その他手続きに関わること

###### ③海外の大学と連絡調整等

###### ④事前研修、危機管理オリエンテーション等

###### ⑤学生の留学中の状況の把握

###### ⑥帰国後の手続き

###### ⑦帰国後のフォローアップ

9

#### IV. 留学生の支援にかかわること(3)

##### 3. 緊急時の対応において関係するかもしれないこと

###### ①それまでの学生との関係

###### ②学生と連絡取れる場合、学生との関係

###### ③家族との連絡、家族との関係

###### ④学内関係者等の連絡調整や対応体制

###### ⑤協定校等海外の関係組織

###### ⑥大使館、領事館、警察等

###### ⑦家族の迎え(呼び寄せ)

###### ⑧大学側による迎え(呼び寄せ)

###### ⑨保険、危機管理サービス等の利用

###### ⑩その他

10

#### IV. 留学生の支援にかかわること(4)

##### 4. チームでの対応（日常の体制）

- ①気になることがあれば、プライバシーを守りつつ、関係者で共有する。  
(ただし偏見、差別にならないように注意する。)
- ②必要に応じて、専門家等に相談、連携協力して対応する。
- ③必要に応じて、過去のケース等を共有する。  
(プライバシーに配慮する。)
- ④一人で抱え込まない。信頼できる同僚や関係教職員と、気軽に相談できる関係を築いておく。

11

#### IV. 留学生の支援にかかわること(5)

##### 5. チームでの対応(緊急時)

- ①緊急時は特にチームでの対応が不可欠  
部局、指導教員、事務職員等  
本部、国際教育交流センター等  
その他関係部署、関係者等
- ②チームでの役割分担と情報共有が重要
  - ・関係者による複数名体制
  - ・情報集約、整理、分析、対応、

12

#### IV. 留学生の支援にかかわること(5)

##### 5. チームでの対応(緊急時)(続き)

###### ③状況の変化にあわせて迅速かつ柔軟に対応

- ・チームでの情報共有と役割分担を確認しながら対応

###### ④対応するチームメンバーの健康に配慮

- ・かなりのストレス状態が続く場合がある
- ・1人に負担が集中しないよう配慮
- ・通常の教育支援業務について配慮
- ・何日にもわたり緊急事態が続く場合がある
- ・最初の緊急事態を脱した後、長期間にわたり対応が必要なケースもある。

13

#### IV. 留学生の支援にかかわること(6)

##### 6. 緊急時に備える

###### ①関係する教職員間での日常的なネットワークや信頼関係

###### ②危機管理含む各種オリエンテーションやシミュレーション (学生対象、教職員対象)

###### ③予防的措置、学生のQOLに配慮

(学生のコミュニティやネットワーク作りの支援、孤立させない)

14

#### IV. 留学生の支援にかかわること(7)

##### 7. 特に派遣に関して大事なこと

- ①協定校等、海外の関係機関との信頼関係
- ②日常的なコミュニケーションが緊急時に役立つ
- ③メールに加え、必要があれば、電話したり、直接会って確認

15

#### IV. 留学生の支援にかかわること(8)

##### 8. 多様な学生がいることを認識する

例:

- ①意欲的、積極的な学生
- ②明確な目的意識をもっている学生
- ③はっきりした目的や目標のない学生
- ④海外にかかわる経験が少ない学生
- ⑤留学生等に関わろうとしない学生
- ⑥留学生との交流を通して刺激をうける学生

##### 9. 学生にとっての留学を想像してみる

例:

- ①多様な世界に身近に触れる貴重な経験となる
- ②学生が大きく成長する一つの機会となることがある
- ③留学がその後の人生に影響を与えるきっかけとなることがある

16



## V. 終わりに

### 1. 教職員が学生に対してできること

- ① 学生が海外留学を通して学び成長する機会を提供しサポートする
- ② 手続きの対応＋多様な学生の話聴く、留学を見守る

### 2. 教職員自身ができること

- ① 留学生教育支援担当者間で意見交換、情報交換の機会を持つ
- ② 可能であれば、教職員自ら海外へ行く機会を持つ
- ③ 日常とは異なる世界、言語、文化、価値観等の違いを実体験する

### 3. 最も大事なこと

受入れであれ、派遣であれ、留学する学生の立場や気持ちを想像しながら対応する